

君に涙をささげよう

君に涙をささげよう

いく年月としつきが流れども

自然に涙なみだがこぼれれば

悼いたむ心といえようか

あの日の夜のできごとを

昨日きのうのように思いだす

静かな春の闇のなか

短き命はかな、儚はかなくつきぬ

失敗ばかりの日がつづき

君の望みもついえたか

血の気の引いた顔をみて

ただ頑張あどれと後をおす

楽しいこともあったろう

寄席や映画やコンサート、

未来の君の目標を

熱く語ったこともある

あの時までが夢なのか

あの時からが夢なのか

それともすべてが夢なのか

ため息ばかりの日がつづく

はとう
波濤のごとき悲しみに

打ち拉ひしがれてしまよえり

ああ君は今どこにいる

悲しみいだき会いにいきたい

君に涙をささげよう

こんなことしかできないが

これがやつとのことなのだ

愚かな父をゆるしたまえ